

# 「生命のがん教育」を実施しました

(令和4年1学期分)

令和4年1学期は25校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

## ◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

## ◆授業風景



(亀岡市立西別院小学校)



(舞鶴市立若浦中学校)



(同志社国際高等学校)

## ◎小学校 (6校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
6/7 (火)	舞鶴市立吉原小学校	5・6	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
6/10 (金)	長岡京市立長法寺小学校	6	京都済生会病院 消化器内科部長 大野 智之
6/24 (金)	木津川市立南加茂台小学校	5・6	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
6/30 (木)	亀岡市立西別院小学校	4・5・6	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
7/7 (木)	井手町立井手小学校	6	宇治徳洲会病院 外科副部長 水野 礼
7/11 (月)	宇治市立西大久保小学校	6	京都岡本記念病院 消化器外科医長 山里 有三

## <児童の感想>

- ☆ がんは5人に1人だと思っていたけど、2人に1人と、とても身近な病気だと分かりました。がんになっても一人ぼっちじゃないのが分かったし、規則正しい生活をすることによって、がんになりにくくなるのが分かったので、そういうことを意識して生活していきたいなと思いました。
- ☆ がんは最初遠い存在だったけど、今日教わってすごく近い病気なんだと実感しました。けれど、しっかり検診を受けていれば、すぐに見つけて治せるのだなと分かりました。だから、大人になったらしっかり検診をしたいと思いました。
- ☆ がんには色々な種類があり、がんがあるかはなかなか気付きにくいので、検診を受けることが大切だと分かりました。今日授業で学んだことを家族や大切な人に伝えようと思いました。
- ☆ 2人に1人くらいがなるということを知って、すごくびっくりしました。果物などを好き嫌いなく食べて、たばこなども吸わないようにしたいです。
- ☆ がんはたばこを吸うとすごく影響を受けると分かりました。また、がんにかかりにくくするにはバランスよくご飯を食べたらいいと分かりました。あと、がん検診も受けた方がいいと分かりました。

- ◇ がんは年をとるにつれて増えているから気を付けようと思った。がんは自覚症状がないから、少しでもおかしいと思ったら家族の人たちにがん検診を受けてねと言おうと思った。

◎中学校（2校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
6/30（木）	舞鶴市立若浦中学校	3	京都府健康福祉部 理事 重見 博子
7/7（木）	八幡市立男山第二中学校	2	京都医療センター がん診療部長 大谷 哲之

<生徒の感想>

- ◇ 今の自分にできることは、生活習慣を整えることが大切だと思った。分かっているけどなかなか行動に移すことができていないと感じた。でも今日の講話を聞いて、本当にがんという病気は誰がなってもおかしくないし、最悪の場合、死につながる怖いものだと感じたので、自分の生活を見直し、悪いところを改善できるようにしたいと思った。また、親や祖父母にもがん検診を受けているか聞いてみたり、あまり負担をかけないようにしたいと思った。
- ◇ がんは早期発見がカギになると分かった。生活習慣など直せるところから直して、がんの対策、予防をしようと思った。

◎高等学校（17校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5/10（火）	日星高等学校	1	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
5/11（水）	同志社国際高等学校	1	京都府健康対策課 医務主幹 春里 暁人
5/30（月）	京都府立舞鶴支援学校	1・2・3	京都府健康対策課 医務主幹 春里 暁人
6/1（水）	銅駝美術工芸高等学校	1	京都府立医科大学教育センター 特任教授 曾和 義広
6/1（水）	京都共栄学園高等学校	1	市立福知山市民病院 内科医師 小原 知也
6/8（水）	京都府立南陽高等学校	1	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
6/10（金）	京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科医長 尾松 達司
6/13（月）	京都廣学館高等学校	1	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
6/15（水）	京都府立東舞鶴高等学校	1	京都府健康対策課 医務主幹 春里 暁人
6/15（水）	京都つくば開成高等学校	1・2・3	京都市立病院 小児外科副部長 遠藤 耕介
6/23（木）	京都市立白河総合支援学校	1	京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科医長 村上 怜
6/24（金）	京都光華高等学校	1	京都市立病院 呼吸器内科医長 吉岡 秀敏
6/29（水）	京都府立田辺高等学校	1	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 武藤 倫弘
7/1（金）	京都府立大江高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
7/8（金）	京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 診療部長 堅田 和弘
7/12（火）	京都府立城陽高等学校	1	宇治徳洲会病院 外科医長 我如古 理規
7/13（水）	京都府立北桑田高等学校	2	京都第二赤十字病院 血液内科医長 佐々木 奈々

<生徒の感想>

- ◇ 自分はまだ若く、がんや病気について考える機会があまりありませんでした。でも、今日の授業を聞いて、自分の周りにいる人を助けるために、がんについての理解を深めることが大切だと思いました。またがんは誰にでも起こる可能性が高いものなので、他人事として考えるのではなく、自分もがんとはどういうものなのか、がんになったときはどうするべきか、予防方法はどんなことかを知る必要があると思いました。
- ◇ 私も身近にがんになってしまった人がいるので、改めて自分や周りの人の命について考えられる良い時間

だったと思います。そして両親に定期的にかん検診に行くように言おうと思い、同時に自分が大人になった時も定期的に行こうと思いました。

- ☆ 2人に1人ががんになるかもと聞いてびっくりしました。がんにならないように生活を見直したり、大人になったらがん検診をしっかり受けようと思いました。今日学んだことをしっかり伝えようと思いました。身近な人達がもしかかったら、学んだことをいかしていきたいなと思いました。
- ☆ どんな病気でもそうだけれど、やはり生活習慣を整え、害のあるもの（たばこ）に安易に手を出さないことが大切だなと思いました。その上でがん検診に行き、早期発見することでより安心して「がん」と向き合えると思いました。
- ☆ がんのことについて色々知れたので良かったです。また検診に行って、自分の体を守っていきたくと思いました。そしてもし、自分の身近な人ががんになってしまったり、病気になってしまったら心のサポートなど自分にできることをたくさんしたいなと感じました。命はとても大切なものだ改めて考え直すことができよかったです。これを周りの友達、親戚、家族の人達に広めていきたいです。また自分ががんにならないためにしっかり予防していきたいです。
- ☆ 2人に1人はがんになっていること、たばこががんになりやすいということが一番印象に残った。また、定期的に検診をすることの大切さ、がんという病気について知っておくことの大切さを感じた。これからは生活習慣に気を付けて、がんや他の病気にならないように気を付けて過ごしたいと思う。今回話を聞いて、がんやがん患者さんについてたくさん知ることができた。このような話を日本のみんなが理解し、がんについて考えていくことが大切だと考えた。
- ☆ がんには50%の人がかかるということが、思っていたより高い割合だったし、まったく無視できるものではないのだと改めて思った。また、今までの意識の低さを認識する良い機会になったと思う。自分で「健康に悪い」と思えるようなことは極力避けるようにしたいと思った。
- ☆ がんは誰がなってもおかしくない病気で、このような授業でしっかり学んでおくことは大事だと思いました。また、これからは自分の体のことプラス、自分の大切な人の体のことも気遣いながら過ごしたいと思いました。
- ☆ 今日の授業では、定期的に検診に行く大切さを学びました。私の家ではがん検診に行く習慣がなく、今回のような話を講義で聞いたときに、本当に行かなくていいのかと不安に思っていたのですが、今回の話を聞いて、家族にがん検診に行ってほしいと言う決心ができました。大切な人を守るためにも、そして自分の身を守るためにも、がん検診に行こうと思いました。
- ☆ がんは普段の生活で予防できて、リスクを抑えることができても、一番の予防はしっかりと検診に行くことであるということが理解できました。家族や大切な人に今日学んだことを伝え、少しでもがんで苦しむ人を減らせたらと思います。
- ☆ がんの予防として、健康な体づくりを続けていきたいです。家族がもしがんになったら、全力でサポートしていきたい。
- ☆ がんは初め自覚症状がなく、知らないうちに大きくなっていくので改めてがんの怖さを感じました。定期的ながん検診によって、がんの早期発見・早期治療ができるので、大人になったら必ず検診にいかうと決めています。たばこは、がんになる確率が高まるので、絶対に吸いません。
- ☆ がんの予防の「あいうえお」を知れてよかった。早期発見のためには、検診に行くことが大切と知れた。
- ☆ がんになると不安でいっぱいになると思うけど、今日の授業を受けて少しは乗り越えられる気がした。
- ☆ 自分は健康だから別にいいやとか大丈夫と思うのではなくて、ちゃんと検診に行くことはとても大事なことでだと分かりました。これから大人になった時、積極的に検診を受けて、自分の命を大切にしたいと思えました。
- ☆ 自分が大きな病気にかかってしまったときに、周りに誰もいないと辛いけれど、自分を支えてくれる、サ

ポートしてくれる人が周りにいれば、頑張って治したい、と思えることが分かった。だから、周りで病気にかかった人がいればサポートしたいと思った。

- ☆ 今日の授業を受けて、2人に1人はがんになることがあることを知って、とても怖い病気だということが改めて分かったし、自分も生活習慣など変えられるところから変えていきたいと思ったし、今日授業で知ったことは家族にも話してみたいと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp